

区営住宅における窓断熱等の効果検証について

令和8年6月の都市環境委員会で報告した区営住宅における窓断熱等の効果検証について、現在までの進捗状況を取りまとめたため、以下のとおり報告します。

1 検証環境

下表の区営住宅の空き室（2部屋ずつ）を活用し、窓断熱（二重窓）改修を実施している居室と実施していない居室で温度測定等を実施しています。

団地名	居室	その他
高井戸西二丁目アパート 1号棟	305号室 306号室	306号室で窓断熱改修を実施済 築年数：22年 間取り：1LDK、ベランダ南東向き
善福寺三丁目アパート 9号棟	102号室 103号室	102号室で窓断熱改修を実施済 築年数：50年 間取り：3LDK、ベランダ南向き

2 効果検証の実施状況

（1）検証期間（夏季）

令和8年7月8日から9月末（予定）（測定機器の調整後、8月から夏季測定を開始）

（2）測定対象

外気温、室内温度、壁（窓）面温度、消費電力等

（3）進捗状況

現在、夏季の測定データを収集し、協定締結先の東京大学において分析を進めています。現時点では解析途中であるものの、二重窓による遮熱・断熱・気密効果により、体感温度に影響する放射温度やエアコンの消費電力の削減に一定の効果が見られています。

また、冬季についても、夏季と比較して外気温と室温の温度差が大きくなることから、放射温度やエアコンの消費電力の差もより明確に現れることが予想されます。居室内のヒートショックや結露など冬季特有の課題も考えられることから、冬季における効果検証の実施に向けて、検証内容等を東京大学と協議しているところです。

3 今後について

今年度は、東京大学において、夏季における効果検証を取りまとめるとともに、冬季における効果検証を実施し、その結果を報告書としてまとめます。令和9年度は、これらの検証結果を踏まえ、区は、区営住宅における断熱改修等の方向性を検討するとともに、民間住宅への普及啓発及び脱炭素社会の実現に向けた環境施策の検討に活用します。